

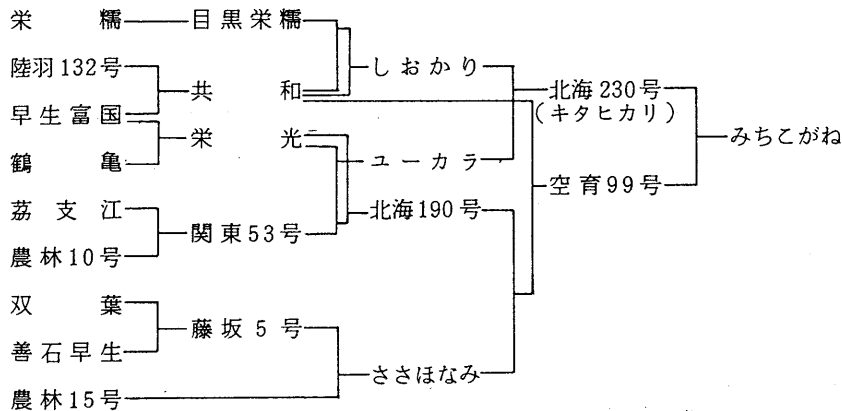
2. みちこがね

種苗登録第 331 号
 登録年月日 昭和58年2月24日
 旧系統名 空育110号
 育成場所 中央農業試験場

1. 来歴

「みちこがね」は、昭和48年北海道立中央農業試験場において「空育99号」×「北海230号（キタヒカリ）」の雑種後代から育成された。昭和48年冬期温室でF₁を養成し、F₂およびF₃は昭和49年鹿児島県で世代促進栽培を行った。昭和50年F₄で穂別系統として供試したが、圃場で系統選抜外の系統からは個体選抜を行った。昭和51年以降は系統選抜を行うとともに、昭和52年から生産力検定試験および各種の特性検定試験に供試した。昭和54年から「空育110号」の系統名を付して関係機関において、地方適否を検討してきた。昭和57年に北海道の奨励品種に採用され「みちこがね」と名付けられた。

系譜図



2. 特性の概要

稈長と穂長は、ほぼ「キタヒカリ」と同程度であり、穂数も「キタヒカリ」並の偏穂数型である。粒着密度は「キタヒカリ」より多少密で「イシカリ」並、脱粒性は“難”である。稈先は無芒で稈先色は黄白色である。玄米の粒形は「キタヒカリ」に類似し“中”であるが、粒大はこれよりやや小さく“中”である。玄米の品質は「キタヒカリ」とほぼ同じであるが、腹白、心白は少ない。割粳は、「キタヒカリ」並で「イシカリ」より少ない。

出穂期は「キタヒカリ」並の中生の中であるが、登熟日数は「キタヒカリ」より多少長く、成熟期は中生の中に属する。いもち病耐病性は、葉いもち・穂いもちとも「キタヒカリ」に多少勝り、“中”程度と

判定される。障害型耐冷性は、「キタヒカリ」「イシカリ」より強い“やや強～強”である。耐倒伏性は「キタヒカリ」に勝り、「イシカリ」程度の“強”である。収量は「キタヒカリ」に勝り、「イシカリ」程度。白米のアミロース含量，蛋白質含量，アミログラムの数値は，ほぼ「キタヒカリ」と同じである。食味は，ほぼ「キタヒカリ」並である。

3. 適地等

「みちこがね」は北海道の中央部に適する。

「みちこがね」は、「イシカリ」「ともゆたか」に比べて，玄米品質と食味が優れている。しかし，出穂期と成熟期が晩く，全面的にこれらに置き換えることは困難である。このため，低温年でも出穂遅延の少ない地帯で，「イシカリ」「ともゆたか」を「みちこがね」に置き換えて栽培することが望ましい。

奨励品種採用：北海道（昭和57年～）

4. 栽培上の注意

- (1) 出穂遅延を避けるために，中苗以上の苗を用いて栽培する。
- (2) 強稈であるが，いもち病耐病性が必ずしも十分でないので，多肥栽培を避け適期防除を行う。
- (3) 茎数の早期確認をはかるため，植付株数は㎡当り25株の栽植密度で栽培する。

5. 育成者氏名

和田 定（ $F_7 \sim F_{10}$ ），江川勇雄（交配～ F_{10} ），前田 博（交配～ F_{10} ），佐々木忠雄（交配～ F_{10} ），菊地治己（ $F_6 \sim F_{10}$ ），新井利直（ $F_7 \sim F_{10}$ ），江部康成（交配～ F_7 ），石丸良博（交配～ F_6 ），山崎信弘（交配～ F_5 ），三木直倫（ F_5 ），岩崎徹夫（交配～ F_4 ）

6. 試験成績

(1) 生育調査成績

栽培法	品 種 名	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	結 実 日 数	成 熟			倒 伏 程 度	不 稔 (%)	穂 い も ち	
					稈 長	穂 長	穂 数				
成 苗 ・ グ ラ イ 土	普 通	みちこがね	8. 8	10. 3	56	65	17.1	23.2	△	14.7	△
		キタヒカリ	8. 8	10. 3	55	63	17.9	23.3	△	16.0	△
		イシカリ	8. 6	10. 1	57	61	18.5	20.9	△	16.7	△
		ともゆたか	8. 5	10. 1	58	60	17.5	26.5	△	16.6	△
	多 肥	みちこがね	8. 7	10. 4	58	69	17.8	27.1	△	13.3	△
		キタヒカリ	8. 8	10. 2	55	69	18.1	28.5	△	19.8	ビ
		イシカリ	8. 6	10. 1	56	67	18.7	27.9	△	16.0	△
		ともゆたか	8. 5	10. 1	57	65	18.4	35.4	△	18.0	△

(2) 特性調査成績

品 種 名	稈		粒 着 密度	芒		稈先色	玄 米			
	細 太	剛 柔		多 少	長 短		形 状	腹 白	粒 色	光 沢
みちこがね	中	剛	ヤ密	無	一	黄白	中	微	薄 飴	良
(比)キタヒカリ	中	ヤ剛	中	無	一	黄白	中	少	飴	良
(比)イシカリ	中	剛	ヤ密	無	一	黄白	ヤ長	微	飴	ヤ良
(比)ともゆたか	中~や細	ヤ剛	ヤ密	稀	短	黄白	ヤ長	微	飴	良

(3) 特性検定試験

品 種 名	葉いもち (育成場)			穂いもち (育成場)				耐 冷 性
	昭 53	54	55	昭 53	54	55	56	
みちこがね	やや強	中	やや強	やや強	中	やや強	やや強	ヤ強~強
(比)キタヒカリ	やや弱	中	中	弱	やや弱	やや弱	中	やや強
(比)イシカリ	やや強	やや強	やや強	やや強	やや強	やや強	やや強	やや強
(比)ともゆたか	中	やや強	中	中	やや強	やや強	やや強	やや強

(4) 収量および品質調査成績

栽培 法	品 種 名	収 量 調 査 (Kg/a)				玄米重 比 率	籾 摺 歩 合	玄 米				調査年次
		わら重	籾 重	玄米重	屑米重			ℓ 重	千粒重	等級	品質	
普 通	みちこがね	46.7	61.3	47.6	3.9	108	77.0	827	22.2	2 上	上中下	52,54~56
	キタヒカリ	49.2	57.3	44.0	5.5	100	76.4	830	22.7	2 中	上中下	
	イシカリ	45.3	55.1	43.6	3.2	99	78.5	826	23.3	2 下	上下上	
	ともゆたか	44.3	59.8	47.1	3.7	107	78.5	829	23.3	2 下	上中下	
多 肥	みちこがね	53.6	70.6	54.3	4.2	113	76.2	819	22.0	3 中	上中下	52,54~56
	キタヒカリ	54.9	63.4	48.2	4.2	100	74.7	826	22.4	3 中	上中下	
	イシカリ	53.2	67.7	52.8	3.5	110	77.2	823	22.8	3 下	上下上	
	ともゆたか	52.1	67.9	53.3	4.0	111	76.5	825	23.2	3 中上	上中下	